

令6 高等学校商業 (6枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

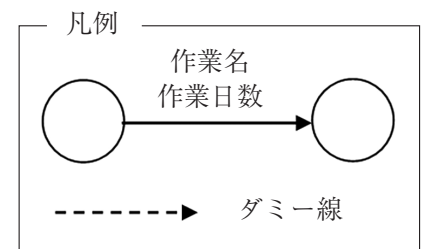
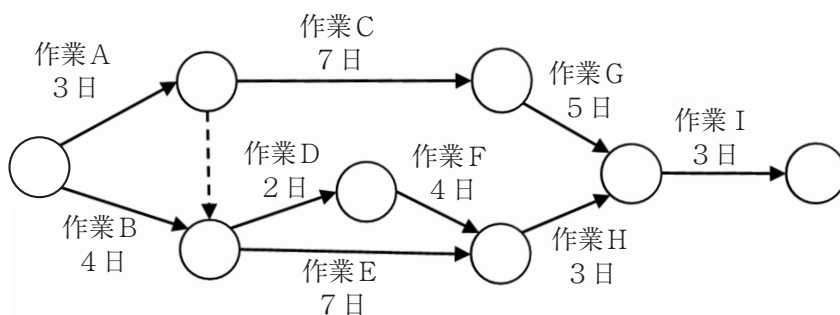
I 次の問いに答えなさい。

- 仕事と生活の調和を取ることとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア ダイバーシティ イ テレワーク ウ イノベーション エ ワーク・ライフ・バランス
- 買い物やサービスを受けたときに、銀行のキャッシュカードを利用して即時決済を可能にする支払手段として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア クレジットカード イ デビットカード ウ プリペイドカード エ POSA カード
- ネットワーク社会で情報を扱う人が守るべき規範や決まり事として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 情報セキュリティ イ デジタルディバイド ウ 情報モラル エ 情報リテラシー
- すでに知られている製品や技術をもとにした製品の形状や構造、組合せなどのアイデアを保護する権利として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 意匠権 イ 商標権 ウ 実用新案権 エ 特許権
- 複数の選択肢がある場合、一方を選択すれば他方を断念しなければならないこととして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア フリーミアム イ トレード・オフ ウ フェアトレード エ マーケット・イン
- ブレインストーミングの4つのルールとして適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 批判禁止 イ 自由奔放 ウ 量より質 エ 結合便乗
- 年齢や性別、言語や文化、障害の有無などに左右されず誰でも利用できるデザインとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア ユニバーサルデザイン イ プロダクトデザイン ウ パッケージデザイン エ ロゴデザイン
- 企業会計原則の一般原則に含まれないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 真実性の原則 イ 明瞭性の原則 ウ 継続性の原則 エ 重要性の原則

II 次の問いに答えなさい。

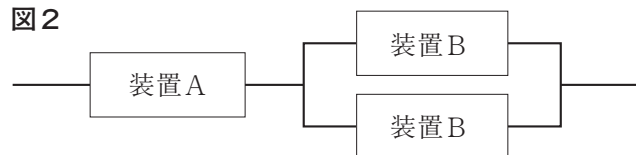
- 仲立人が売り主から3.6%、買い主から3.8%の手数料を受け取る約束で商品の売買を仲介したところ、売り主の手取金が¥944,720となった。仲立人の受け取った手数料の合計を求めなさい。
- 次の損益分岐点に関する資料から、目標営業利益¥414,000を達成するときの売上高を求めなさい。
売上高 ¥750,000
変動費 ¥300,000
固定費 ¥450,000
- 次の図1は、あるプロジェクトにおけるアローダイアグラムである。このプロジェクト全体が完了する最短日数を求めなさい。

図1



- 装置A、装置Bが、図2のように配置されているシステム全体の稼働率を求めなさい。なお、それぞれの稼働率は装置Aが0.9、装置Bが0.8であると、装置Bは少なくとも1台が正常に稼働すればよいものとする。ただし、小数第3位未満を四捨五入すること。

図2



- 次のようなネットワーク設定がされているコンピュータAと、ネットワークアドレスが同一となるコンピュータとして適切なものを、あとの表のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。なお、コンピュータAおよびア～エのサブネットマスクには、255.255.248.0が設定されているものとする。

コンピュータAのIPアドレス設定：192.168.162.52

表

コンピュータ名	IPアドレス
ア	192.168.150.20
イ	192.168.160.142
ウ	192.168.170.58
エ	192.168.180.0

- 通信速度100Mbpsの回線を用いて、8GBのファイルをダウンロードするためにかかる時間は何秒か求めなさい。なお、伝送効率は80%とし、その他の外部要因は考えないものとする。ただし1GB = 10⁹Bとする。

令6 高等学校商業 (6枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅲ 次の資料は、平成30年に告示された高等学校学習指導要領の「商業」の「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。資料中の(①)～(⑧)に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

資料

- 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 - 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む(①)・能力の育成に向けて、生徒の主体的・(②)で深い学びの実現を図るようすること。その際、商業の見方・考え方を働かせ、企業活動に関する事象を捉え、専門的な知識、技術などを基にビジネスに対する理解を深めるとともに、ビジネスの振興策などを考案して地域や産業界等に提案し、意見や助言を踏まえて改善を図るなどの実践的・(③)的な学習活動の充実を図ること。
 - 商業に関する各学科においては、「ビジネス基礎」及び「(④)」を原則として全ての生徒に履修させること。
 - 「(⑤)Ⅱ」については、「(⑤)Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とすること。
 - 地域や産業界等との(⑥)・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの(⑦)に努めること。
 - 障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を(⑧)的、組織的に行うこと。

Ⅳ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

企業は、ヒト・(①)・カネを動かしてビジネス活動を行っている。ヒトを動かす基礎となるのが(②)であり、(①)を動かす中心となるのが売買契約・賃貸借契約であり、カネを動かす時に重要な働きをするのが消費貸借契約である。

不動産売買などの重要な取引では、売買契約を締結したときに(③)を作成し、買主から売主に手付金を交付することがある。これは、契約の履行を保証するためのものであるが、当事者間に特約がなければ、契約を解除する権利を留保するために交付されたものと推定される。a契約の履行に着手する前なら、買主は、交付した手付金を放棄して契約を解除することができ、売主は手付金の倍額を返して契約の解除をすることができる(民法第557条)。売買契約が解除されることなく最終的に履行されたときには、手付金は**b** 売買代金の一部に充てられる。

1 文中の(①)～(③)に入る適切な語句を、次のア～カからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

ア 情報 イ 雇用契約 ウ モノ エ 寄託契約 オ 見積書 カ 契約書

2 下線部aの民法第557条において、1,000万円の土地売買取引で買主が売主へ手付金として100万円を交付している場合、売主が契約の解除をする際に支払う金額はいくらになるか求めなさい。

3 下線部bの金銭を何というか、漢字2字で書きなさい。

Ⅴ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

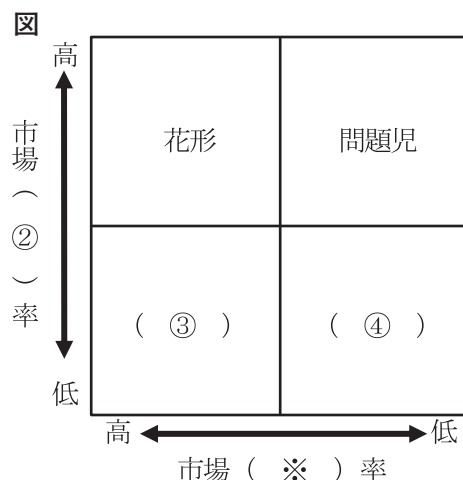
複数の事業を展開する企業は、どの事業に集中し、どのように資源を割り当てるかを検討することが不可欠である。右の図は、(①)分析と呼ばれる手法である。

この手法では、図のように縦軸に市場(②)率、横軸に市場(※)率の2軸からなる座標上に、自社の事業や製品・サービスを分類し、分析を行う。この分析を行うことで、自社の各事業の立ち位置、および自社の各事業の競合他社との立ち位置が確認でき、各事業の強化や維持・撤退などの経営判断がしやすくなる。

1 文中及び図中の(①)～(④)に入る適切な語句を書きなさい。ただし、文中及び図中の(※)は解答不要とし、同じ記号には同じ語句が入る。

2 図の「問題児」の特徴について述べた文として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- 市場シェアが低いため、稼ぐキャッシュは少ないが、市場シェアの維持だけでも多額の投資を必要とする。
- 投資に必要なキャッシュは多いが、市場シェアも高いため、多くのキャッシュを稼ぐことができる。キャッシュの出入りが同じぐらいのため、相殺すると利益が大きくなることはない。
- 投資に必要なキャッシュは大きくないが、市場シェアが高いため、稼ぐキャッシュは多い。
- 事業ライフサイクルは、成熟期から衰退期にあるため、追加投資に必要なキャッシュが少ない一方で、市場シェアが二番手以下であるため、稼ぐことができるキャッシュも小さい。

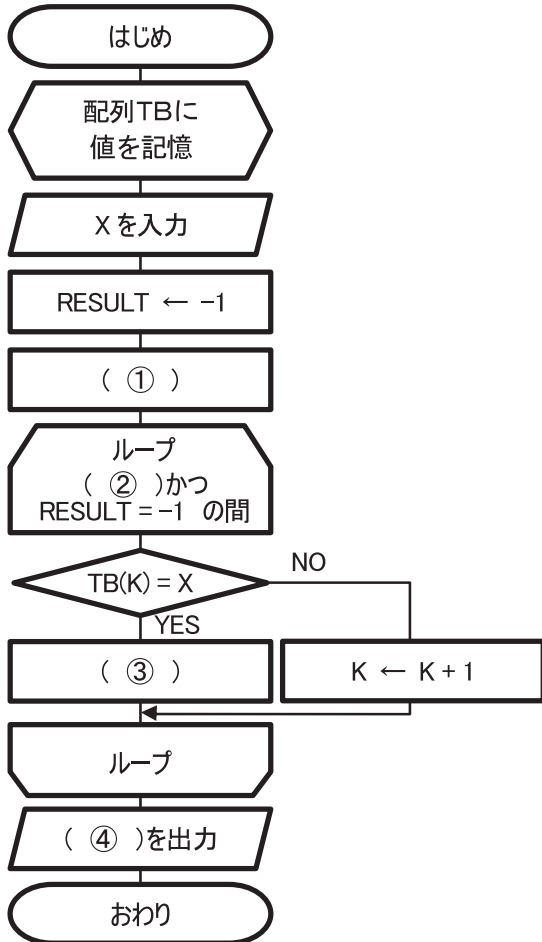


令6 高等学校商業 (6枚のうち3)

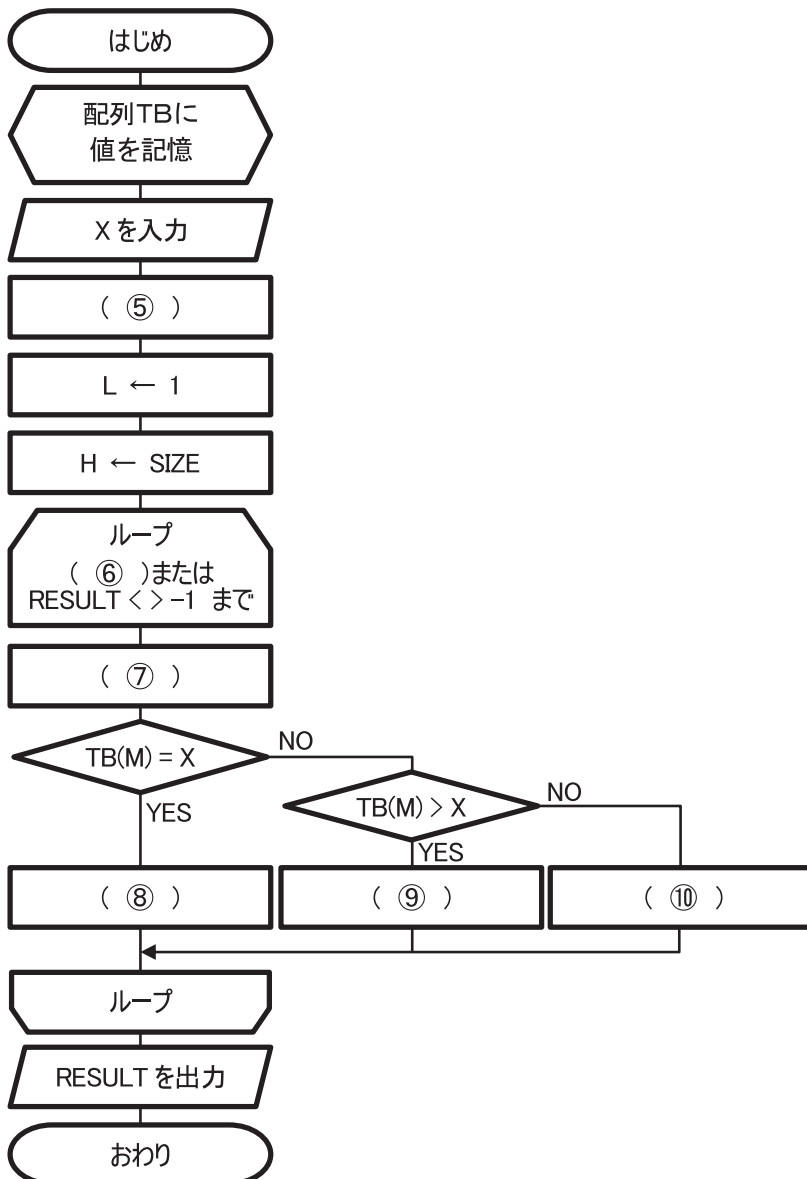
(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

VI 次の流れ図1、流れ図2及び説明について、あとの問いに答えなさい。

流れ図1



流れ図2

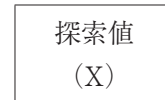


説明

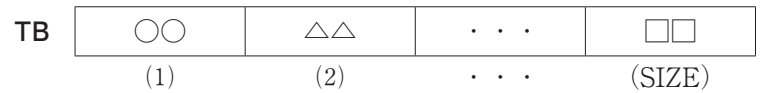
(1) 共通の仕様

- ・配列 TB のデータの個数を SIZE とする。
- ・配列の添字は 1 から始まり、配列内のデータに重複はない。
- ・各探索方法を繰り返し、入力データ X が配列 TB から見つかった場合は配列内の位置 (添字) を出力し、見つからなかった場合は -1 を出力する。

< 入力データ >



< 配列 >



(2) 流れ図1での探索方法

- ・入力データ X を、値が順不同で格納された配列 TB の先頭から順に比較する。

(3) 流れ図2での探索方法

- ・配列 TB で先頭位置を L、末尾位置を H とし、これらを足して 2 で割った整数部を中間位置 M の値とする。
- ・入力データ X を、値が昇順に格納された配列 TB の中間位置の要素 (値) と比較する。その大小結果により、中間位置 M を先頭位置 L や末尾位置 H を用いて改めながら、探索範囲を半分ずつ狭める。

1 流れ図1の (1) ~ (4) に入る適切な内容を、次のア~シからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア RESULT ← TB(K)	イ K ← 1
ウ K ← SIZE	エ K ≥ SIZE
オ K > SIZE	カ K < SIZE
キ RESULT ← K	ク K ← 0
ケ K ≤ SIZE	コ RESULT
サ SIZE	シ TB(K)

2 流れ図2の (5) ~ (10) に入る適切な内容を、次のア~ツからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア L < H	イ H ← M - 1
ウ L = H	エ RESULT ← 0
オ M ← L + 1	カ RESULT ← X
キ RESULT ← -1	ク M ← SIZE / 2
ケ M ← (L + H) / 2	コ M ← H - 1
サ RESULT ← TB(M)	シ H ← TB(M)
ス L ← M + 1	セ M ← (L + H) / 2
ソ H ← M + 1	タ L > H
チ RESULT ← M	ツ L ← M - 1

令6 高等学校商業 (6枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅶ HG 商事株式会社 (決算日は年1回、会計期間は令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間) の【資料1】決算整理前の総勘定元帳残高及び【資料2】未処理事項、【資料3】決算整理事項により作成された貸借対照表 (令和6年3月31日) 及び損益計算書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日) について、①～⑫をそれぞれ求めなさい。ただし、会社計算規則によること。

- ① 貸借対照表に記載される、現金預金の金額
- ② 貸借対照表に記載される、有価証券の金額
- ③ 貸借対照表に記載される、商品の金額
- ④ 貸借対照表に記載される、のれん の金額
- ⑤ 貸借対照表に記載される、前払費用の金額
- ⑥ 貸借対照表に記載される、未払法人税等の金額
- ⑦ 貸借対照表に記載される、退職給付引当金の金額
- ⑧ 貸借対照表に記載される、繰越利益剰余金の金額
- ⑨ 損益計算書に記載される、減価償却費の金額
- ⑩ 損益計算書に記載される、売上総利益の金額
- ⑪ 損益計算書に記載される、営業外収益の総額
- ⑫ 流動比率 (ただし、パーセントの小数第1位未満を四捨五入すること。)

【資料1】総勘定元帳残高

現金	¥ 400,000	当座預金	¥ 4,445,000	受取手形	¥ 1,900,000
売掛金	2,100,000	貸倒引当金	27,000	売買目的有価証券	2,800,000
繰越商品	2,340,000	積送品	300,000	貸付金	1,000,000
仮払法人税等	700,000	備品	1,200,000	備品減価償却累計額	300,000
土地	3,000,000	のれん	800,000	その他有価証券	1,400,000
子会社株式	2,060,000	支払手形	1,413,000	買掛金	1,860,000
長期借入金	3,773,000	退職給付引当金	920,000	資本金	11,000,000
資本準備金	500,000	利益準備金	100,000	新築積立金	300,000
繰越利益剰余金	359,000	売上	62,900,000	受取利息	60,000
受取配当金	257,000	仕入	52,600,000	給付料	3,322,000
発送費	674,000	広告料	944,000	支払家賃	640,000
保険料	64,000	租税公課	325,000	雑費	575,000
支払利息	180,000				

【資料2】未処理事項

- 1 積送品 ¥300,000 は当期に積送したものであり、すでに全額販売され、売上計算書とともに手取金 ¥400,000 を現金で受け取っていたが、未処理であった。なお、決算日現在の現金実際有高は ¥800,000 である。
- 2 貸付金勘定残高 ¥1,000,000 の内訳は次のとおりである。

金額	貸付日	返済期限
¥400,000	令和3年8月1日	令和6年7月31日
¥600,000	令和5年8月1日	令和7年5月31日

【資料3】決算整理事項

- 1 期末商品の棚卸高は次のとおりである。
帳簿棚卸数量 1,250 個 原価 @¥2,600
実地棚卸数量 1,200 個 正味売却価額 @¥2,520
ただし、棚卸減耗損及び商品評価損は売上原価の内訳項目とする。
- 2 受取手形と売掛金の期末残高の合計に対し、それぞれ貸倒実績率 1% として、貸し倒れを見積もり、貸倒引当金を設定する。ただし、差額補充法による。
- 3 備品の減価償却を次のとおり行う。
備品：定率法により、毎期の償却率を 25% とする。
- 4 保有する有価証券は次のとおりである。
売買目的有価証券：A 産業株式会社 40 株 帳簿価額 1 株 ¥30,000 時価 1 株 ¥29,000
売買目的有価証券：B 商事株式会社 50 株 帳簿価額 1 株 ¥32,000 時価 1 株 ¥34,000
その他有価証券：C 商事株式会社 50 株 帳簿価額 1 株 ¥28,000 時価 1 株 ¥34,000
- 5 のれんの償却については次のとおりである。
のれん ¥800,000 は、令和5年4月1日に D 商事株式会社を取得した際に計上したものである。20 年間にわたり毎決算期において均等額の償却を行うものとする。
- 6 受取利息は、前受高 ¥20,000 を次期に繰り延べる。
- 7 保険料は、全額を毎年8月1日に1年分として支払っており、前払高を次期に繰り延べる。
- 8 従業員に対する退職給付を見積もった結果、当期の退職給付費用は ¥250,000 であった。
- 9 法人税・住民税及び事業税として ¥1,500,000 を計上する。

令6 高等学校商業解答用紙 (6枚のうち5)

総計		

高商

I	1		2		3	
	4		5		6	
	7		8			

I		

II	1	¥		2	¥		3		日
	4			5			6		秒

II		

III	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧			

III		

IV	1	①		②		③	
	2	万円					
	3						

IV		

V	1	①		②		③	
		④					
	2						

V		

VI	1	①		②		③	
		④					
	2	⑤		⑥		⑦	
		⑧		⑨		⑩	

VI		

令6 高等学校商業解答用紙 (6枚のうち6)

VII	①	現金預金	¥	②	有価証券	¥
	③	商品	¥	④	のれん	¥
	⑤	前払費用	¥	⑥	未払法人税等	¥
	⑦	退職給付引当金	¥	⑧	繰越利益剰余金	¥
	⑨	減価償却費	¥	⑩	売上総利益	¥
	⑪	営業外収益	¥	⑫	流動比率	%

VII		

令6 高等学校商業模範解答 (6枚のうち5)

総計	200

I	1	エ	2	イ	3	ウ
	4	ウ	5	イ	6	ウ
	7	ア	8	エ		

I	24

II	1	¥ 72,520	2	¥ 1,440,000	3	18 日
	4	0.864	5	イ	6	800 秒

II	18

III	①	資質	②	対話的	③	体験
	④	課題研究	⑤	財務会計	⑥	連携
	⑦	工夫	⑧	計画		

III	24

IV	1	①	ウ	②	イ	③	カ
	2	200 万円					
	3	内金					

IV	17

V	1	①	PPM (プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)	②	成長	③	金のなる木 (金の成る木)
		④	負け犬				
	2	ア					

V	19

VI	1	①	イ	②	ケ	③	キ
		④	コ				
	2	⑤	キ	⑥	タ	⑦	セ
		⑧	チ	⑨	イ	⑩	ス

VI	50

令6 高等学校商業模範解答 (6枚のうち6)

VII	①	現金預金	¥ 5,245,000	②	有価証券	¥ 2,860,000
	③	商品	¥ 3,024,000	④	のれん	¥ 760,000
	⑤	前払費用	¥ 16,000	⑥	未払法人税等	¥ 800,000
	⑦	退職給付引当金	¥ 1,170,000	⑧	繰越利益剰余金	¥ 3,064,000
	⑨	減価償却費	¥ 225,000	⑩	売上総利益	¥ 11,084,000
	⑪	営業外収益	¥ 357,000	⑫	流動比率	378.8 %

VII	48